第 53 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線研修委員会学術集会

消化器がん検診の質を高めるためには、科学的根拠に基づいた検診の普及と、検診を支える撮影・読影技術の向上が欠かせません。放射線診断機器や画像処理技術が進歩する一方、実際の運用体制や医療資源は施設や地域によって異なります。こうした状況を踏まえ、現場で本当に求められる技術をあらためて考える機会として、第 53 回学術集会を開催します。

今回は「今問われる技術 ― 本当に求められる撮影力と読影力 ―」をテーマに、大腸がん検診の現状と今後のあり方をはじめ、透視観察のタイミングや追加撮影、読影の補助について講演します。症例検討会も予定しており、日々の検診業務に生かせる知識や技術を学んでいただけるプログラムです。

記

会　　期：　2027 年 1 月 16 日　（土）　13:00～17:00
会　　場：　ビジョンセンター東京八重洲 9 階 906
　　ハイブリッド開催 ＋ オンデマンド配信
参 加 費：会員 2,000 円（不課税）／ 非会員 2,000 円（税込）
資格更新単位：胃がん検診専門技師 3 ポイント
主　　催：日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 放射線研修委員会
大 会 長：坂倉 智紀　（慈生会 野村病院・杏林大学医学部付属病院）
実行委員長：池田 圭介　（済生会川口総合病院）

お 申 込 み：https://www.eizojoho.co.jp/eventsearch/33585/
お問い合わせ先：日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部
　　jsgcsxraytraining　at　gmail.com（at は＠に変換）

プログラム

13:00～13:05　開会挨拶
大会長　　慈生会 野村病院・杏林大学医学部付属病院　坂倉 智紀

13:05～13:35　Session 1
大腸がん検診の現状と今後のあり方　～大腸 CT を中心に～
東京都立多摩総合医療センター　　山岸 史明

13:40～15:50　Session 2
2-1.　透視観察のタイミングとポイント　～いつみる・どこみる・なにをみる～
亀田総合病院附属幕張クリニック　村岡 勝美

2-2.　不確実さを取り除く　～追加撮影、どう攻める？～

神奈川県予防医学協会　　福山 智之

2-3.　技師に求められる読影の補助とは

こころとからだの元氣プラザ　　小田 丈二

16:00～16:55　Session 3

症例検討会

16:55～17:00　閉会挨拶

実行委員長　　済生会川口総合病院　　池田 圭介

以上